

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 5 月 29 日	
所属部局・職	霊長類研究所・修士課程学生
氏名	樫原 慧

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)
鹿児島県屋久島
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)
フィールド科学実習 A
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)
平成 26 年 5 月 21 日 ~ 平成 26 年 5 月 27 日 (7 日間)
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院
<b>5. 所期の目的・期待される成果</b> (研究内容・調査実施の状況とその成果) 長之谷大学院
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
<p>今回の実習では植物班、サル班、シカ班に分かれてフィールド研究を行った。 私はシカ班に所属していた。シカ班が行った研究活動は 2 つある。シカの行動記録と糞の採取である。 2 人 1 組になり、行動記録者と糞の回収者にわかれそれぞれ記録を行った。行動記録は 2 分ごとに行い、2 時間を 1 つのセクションとした。また糞回収者は行動記録者が追うシカに加え、そのシカと他のシカの間に社会的相互行為が見られた場合はそのシカの糞も回収しなければならなかった。 今回の屋久島実習では行動記録をもとにプレゼンテーションを作成した。糞のサンプルは次のゲノム実習に使用される。実習の具体的内容は以下のとおりである。</p> <p>1 日目：中部国際空港から鹿児島空港へ行き、そこから屋久島空港へと移動。初日ということで明日からの調査地である西部林道の下見へいった。サル、そしてシカが大勢集まっていた。人間を見て逃げるような個体は少なかった印象があった。シカの何匹かには個体識別に使われる首輪がついていた。首輪の大きさの調節等を詳しく教えていただいた。その後全員で晩御飯を食べ、就寝した。</p> <p>2 日目：実際に行動記録をとるまえに実際に森の中で練習を行った。記録をとりながら山の中を走ると、うまく記録をとれなかったり、足元がおろそかになったりと大変であった。無線の使い方や、糞からサンプルをとる方法を教えてもらい、2 日目を終えた。海がめを少し観察した。</p> <p>3 日目：本日も野外にデータをとりに行った。観察のペアは日々変更されるため、それぞれどのようにコミュニケーションをとり、互いを助けていくかを考えることが非常に勉強になった。シカのメスは同じメスと多く社会的相互行為をとっていた。それとは反対に、オスは社会的相互行為をあまり見せないが、2、3 匹で群れを作っていた。お昼は山の中で食べ、その後、午後の観察も行った。午後のシカの様子は午前のそれとは違い、多くの時間を反芻に費やしていた。しかし眠るようなそぶりを見せる個体はいなかった。シカは一日中を通して活動を行うと聞いて、夜の観察も面白そうだと考えていた。夜はそれぞれの活動を発表し、データ入力を済ませた。</p> <p>4 日目：午前西部林道へ向かい、データを回収した。午後からはプレゼンテーションを作り始めた。6 名で分担しながら作成した。大勢と議論を交わし、より良いプレゼンテーションを作ろうと努めた。先生方も参加していただいた議論となった。</p> <p>5 日目：雨が強かったため、終日ステーションでプレゼンテーションを作成した。昼からテレメーターを使用したシカの探索方法をレクチャーしていただき、実際にシカがいる位置を推定した。その後またプレゼンテーションを作った。作成は深夜にまで及んだ。</p> <p>6 日目：朝はプレゼンテーションの発表の準備をした。午後から発表が始まり、サル班シカ班植物班の順で発表した。夕方からは皆で準備をし、バーベキューを行った。</p> <p>7 日目：屋久杉をみて、名古屋に戻った。</p> <p>今後の予定としては、6 月 7 日の国際セミナーで発表を行う。</p>

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書  
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



写真 1. テレメーターのレクチャー



写真 2. 子連れのサル

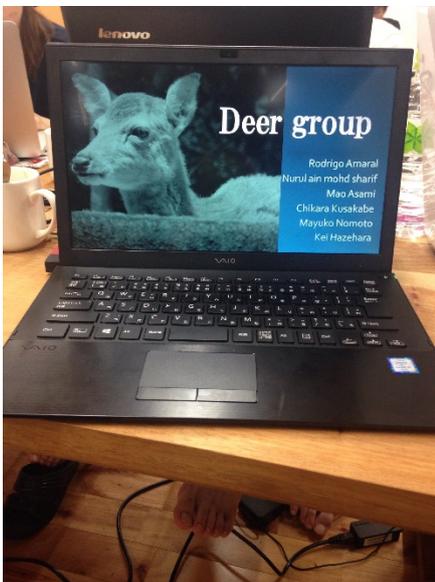


写真 3. シカ班のプレゼンテーション

## 6. その他 (特記事項など)

本実習は PWS リーディングプログラムの援助を受けて行いました。実習期間中、ご丁寧に指導して下さった先生方、およびプログラム関係者の皆様に感謝申し上げます。